



関係者 各位

2022 もてぎロードレース選手権 車両規則 アンダーカウルの解釈

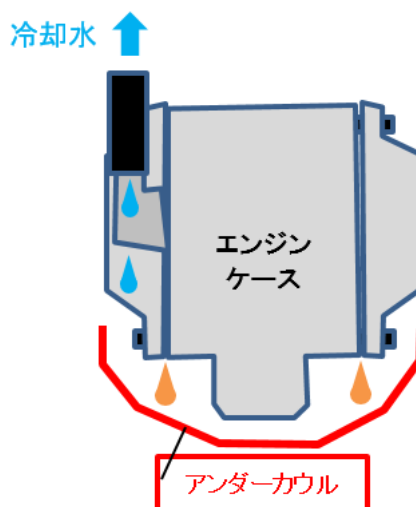
■第 81 条もてぎロードレース基本仕様 ～6) ボディーワーク⑩のアンダーカウルの解釈を以下とする。

当該特別規則 第81条 もてぎロードレース基本仕様
『～6) ボディーワーク

⑩全ての4ストローク車両については、エンジンの破損または故障時に、エンジンに使用されるエンジンオイルおよびエンジンクーラント総量の最低半分(最低5リットル)をアンダーカウルで保持できる構造でなければならない。端部の折り返しの高さは最低 50mm とする。内部には吸収材および耐火素材が装着されていることが望ましい。』

エンジンオイルおよびエンジンクーラント総量の最低半分をアンダーカウルで保持できる構造とは…
クランクケース分割合わせ面、オイルパン合わせ面、クランクケースサイドカバー合せ面からの液体漏れを受け取る構造であること。また、水冷の場合、ホース差し込み口から漏れるエンジンクーラント(水およびレース用として市販されている冷却水)もアンダーカウルで受け取るような構造のこと。以下の図参照。

参照図) 車両下部断面図



以上